

## ● 先進の各種臨床アプリケーションを搭載

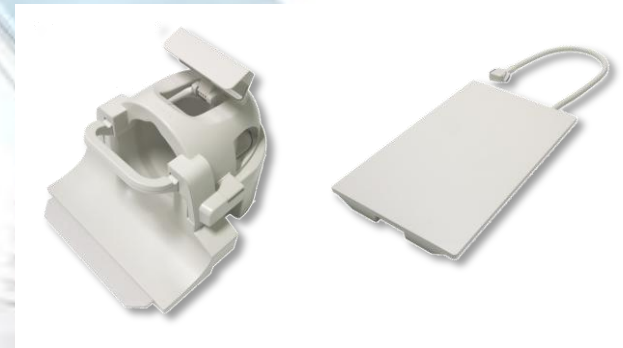
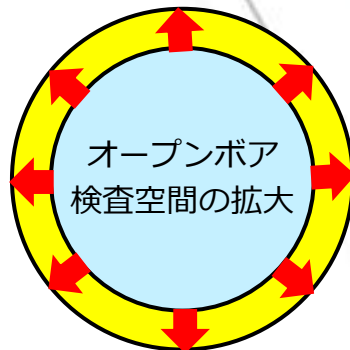
- ・ 脳神経領域、整形外科領域、循環器・血管領域、消化器・腹部領域など、全身にわたって最高の画像が提供可能になります
- ・ 各診断領域別にベストチューニングした各種撮影法を豊富に搭載しています

## ● 短時間で高画質の診断画像が得られます

- ・ 従来の約半分の時間（20分程度）で一連の検査が終了します
- ・ 高コントラストで詳細な情報が得られるため、より精度の高い検査が可能になります

## ● 患者様に優しいMRIです

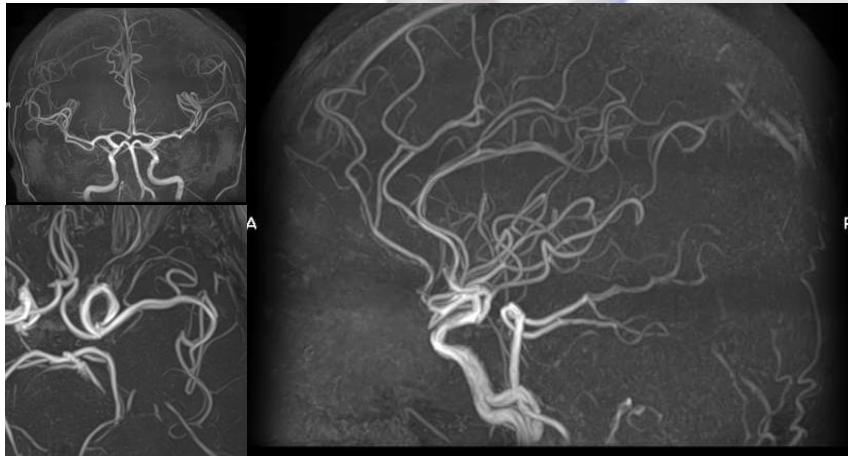
- ・ 快適な検査環境 広い開口径71cmのオープンボア、超短軸ガントリー（1545mm）
- ・ 世界一静かで安心&リラックスした検査環境を提供します  
→ 静音化技術「Pianissimo機構」により、全ての検査騒音を90%以上カット
- ・ 患者様にやさしい、造影剤を使用しない全く新しいMRアンギオ手法が使用可能です



## ●全身領域において極めて高画質の血管像をご提供します

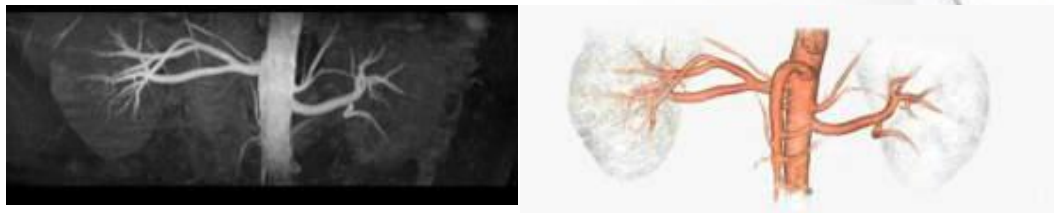
非造影の血管撮像を中心に、全身の血管像を極めて高画質に描出する各種手法が使用可能です。

また最新のMRI高速撮影手法であるパラレルイメージングを最大限に活用できるコイルにより、効率的に短時間かつ高画質の血管像取得が可能です。



高精細MRA。新たな再構成アルゴリズムにより、さらに高画質の臨床画像の提供が可能に。

### Time-SLIP法による選択的血管描出

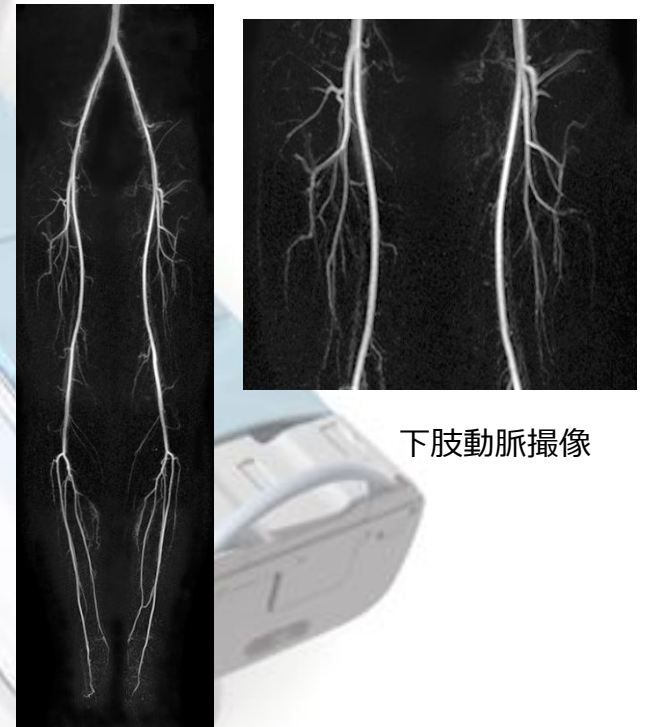


腎動脈の描出（MIP像、VR像）

目的とする血管のみを選択的に描出することが可能です。

### Flow-Spoiled FBI

Flow-Spoiled FBIは、他モダリティ検査に置き換わりうる血管描出能を有する、新手法非造影MRAです。簡単かつ低侵襲で流速の遅い末梢血管や異常血管まで明瞭に描出することが可能です。

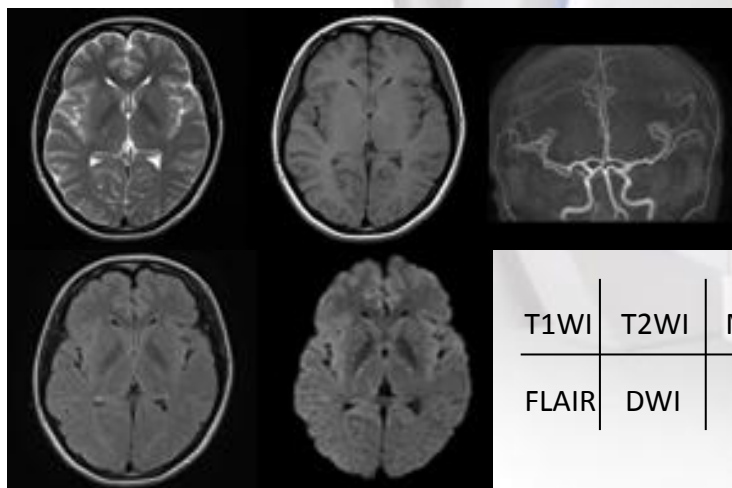


下肢動脈撮像

## ●頭部領域において検査の質が大幅にアップします

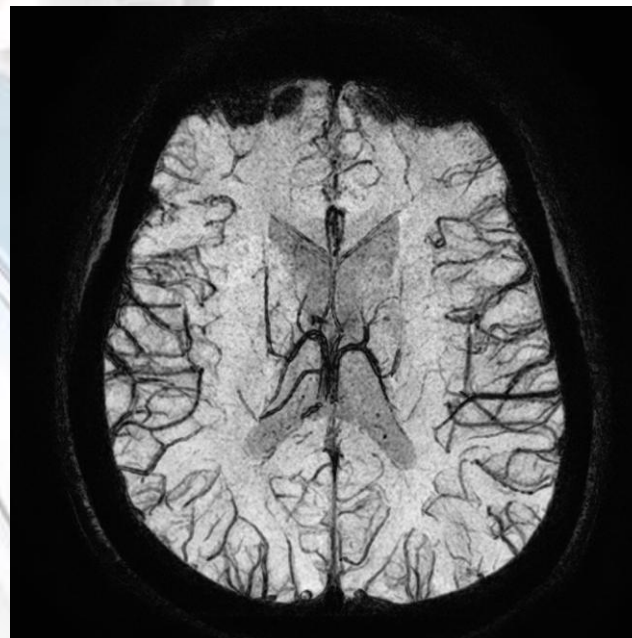
最新のMRI高速撮影技術「パラレルイメージング」に対応し、短時間でより高画質のルーチン検査画像の提供が可能になりました。また新しい臨床アプリケーションを豊富に搭載し、臨床ニーズに応じて目的とする画像をスピーディーにそして高画質での撮影を可能にします。

### FS-BB法（磁化率強調画像）



- ・高分解能撮像を目的として  
スライス厚3mm、2~3分程度で512マトリクスの高分解能撮影が可能になります。

- ・短時間撮像を目的として  
パラレルイメージングを使用した短時間撮像では、Totalで5分以内の撮像も可能となります。  
救急の検査にも有用です。



磁化率を強調させ微小な出血などの情報をより明瞭に反映させることが可能です。  
流れの影響も付加させ、血管の描出能も向上させています。

## ● 整形領域において検査の質が大幅にアップします

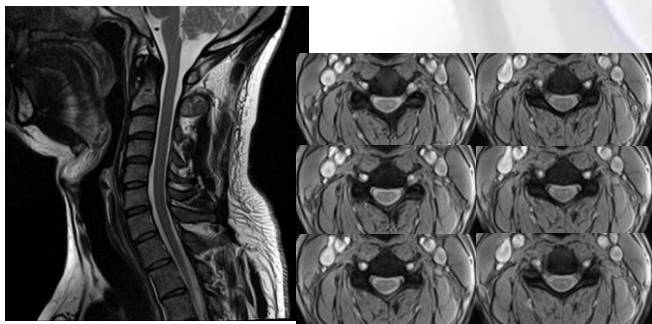
整形領域で求められる高空間分解能撮影が、より高画質でしかも短時間で得られるようになりました。

肩関節や膝関節など磁場中心から離れる部位の撮影時でも、無理な体勢を強いることなく楽な姿勢で高画質画像が得られるようになりました。また広範囲の同時観察が可能な全脊椎撮影など、新しい検査にも対応可能です。

### 脊椎撮像

広範囲をカバーするコイルの特長を活かし、精度の高い脊椎画像が容易に、しかも高画質で得ることが可能です。

また、頸椎、胸椎、腰椎などでの各撮像データの位置情報を自動的に算出し、一つの画像に繋ぎ合わせる機能を搭載しております。

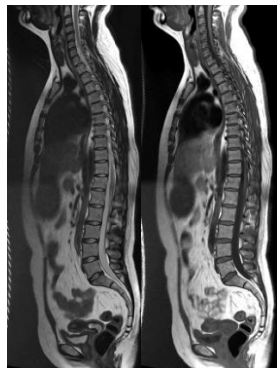


頸椎 T2WI

T2\*WI



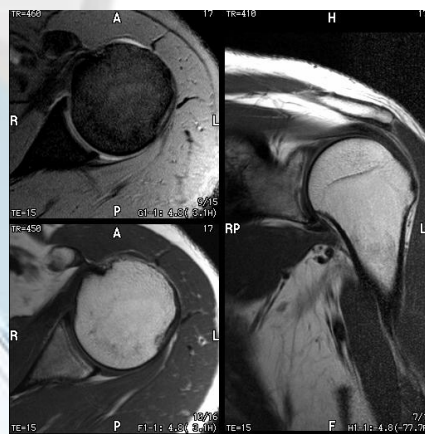
腰椎(T1WI/T2WI)



全脊椎  
(T1WI/T2WI)

### 高分解能撮像

精査に必要な高分解能画像が高画質で得られます。



T2WI  
PDWI  
分解能 : 0.7mm×0.5mm



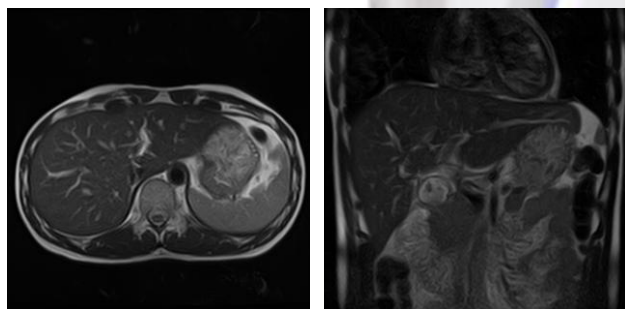
T1WI  
分解能 : 0.3mm×0.4mm  
スライス厚 : 2mm

## ● 軀幹部領域において検査の質が大幅にアップします

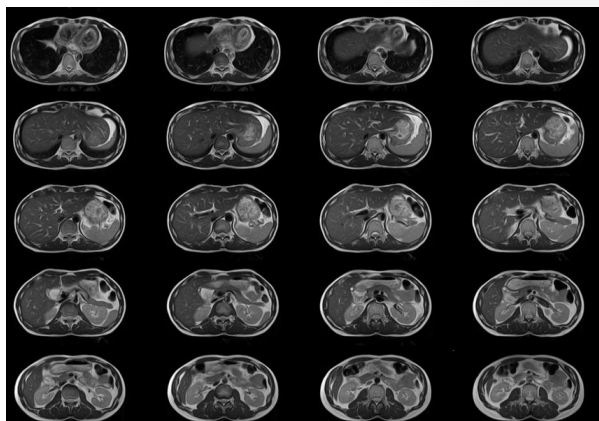
「パラレルイメージング」を使用することで、患者様負担を軽減する短時間での息止め検査が可能となりました。

また、造影を用いないMRCPを腹部ルーチン検査としてご使頂けるだけでなく、EOB造影検査にて肝腫瘍の良悪性鑑別も可能となります。

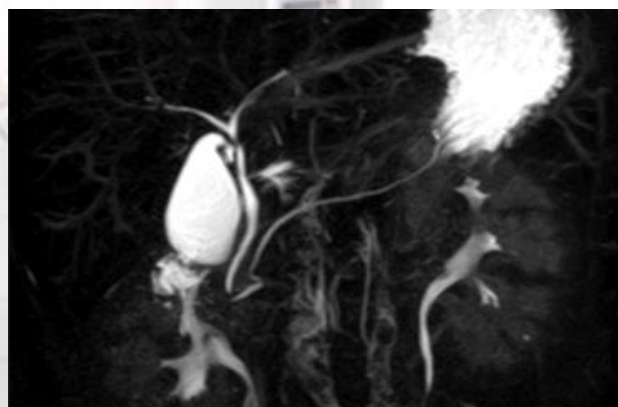
### 腹部領域～全肝撮像～



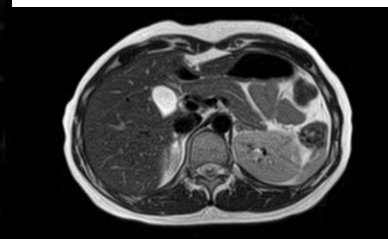
「パラレルイメージング」を使用することで、大部分のシーケンスにおいて20秒以下の息止めにて撮像が可能となります。



### MRCP

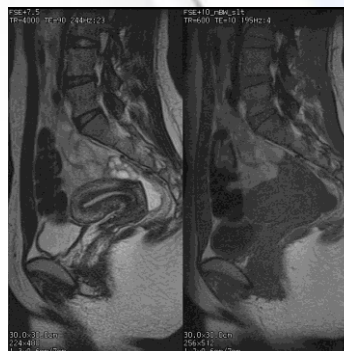


3D MRCP MIP像  
2:22(呼吸同期併用)



2D T2WI  
0:16

### 骨盤部領域



子宮など生理的な動きの影響を受け易い部位には体動補正法を使用することも可能です。より安定した、高画質の画像を提供することが可能です。